

http://www

全国 R・J グレード部会情報誌

か し め

13号 2016年5月15日

発行：全国 R・J グレード部会連絡会

発行責任者：松枝 達次

事務局 東京鉄構工業協同組合

住所：東京都中央区八丁堀 3-9-5

電話：03(5566)1595 FAX:03(5566)1597 E-mail:jimukyoku@tsfa.jp

1 第 13 回 総会 開催

2 新たに 栃木県が  
全国 R・J 部会に  
参加

3 歓迎 栃木県 鉄構  
工業会

4 神奈川 R・J・N  
部会 総会 開催

5 平成 28 年 事業  
計画

## 第 13 回 全国 R・J グレード部会 総会 開催



開会のあいさつをする松枝会長

情報誌「かしめ」は  
全国 R・J グレード部  
会連絡協議会の情報  
誌です。会員と全国の  
組合事務局にメール  
発信しています。記事  
の投稿をお待ちして  
います。事務局は東京  
鉄構工業協同組合で  
す

東日本大震災発災から 5 年の 3 月 11 日に全国 R・J グレード部会連絡会の第 13 回通常総会と講演会が大阪市で開催されました。

総会は、北は栃木県、西は広島県から 40 名の会員が会場の大阪第一ホテルに参集し盛大に行われました。

総会では平成 28 年事業計画案、予算案等、任期満了に伴う役員改選等すべて承認され平成 28 年がスタートしました。

例えば 5 年前に同じ会場で第 8 回通常総会が開催され、地震発生時総会の最中でした。会場には茨城県から参加した参加者もあり、当時司会を担当された京都代表の三田副会長（現顧問）が被害状況を参加者の皆さんに随時情報を報告しながら総会を続けた思い出があります。

総会の冒頭松枝会長は、東日本大震災の犠牲者の追悼のため黙禱をささげることを提案し参加者全員で 1 分間の黙禱を行いました。

## 松枝 建次 会長の挨拶

5年前、この日この場所で大きな揺れを感じ、建築物の構造体を造る者として、その安全性の大事さを特に痛感しました。全国R・Jグレード部会は今年で13回の総会を迎えますが会員数が現在9都府県であり、広がらないのには何が原因かを考えさせられる事があります。

本日はオブザーバーで栃木県から参加をして頂いております。我々はR・Jグレードと言う名の見えない糸で繋がって要るのです、栃木県の方とは、今日見えない糸が見えるようになり、その見える糸を月日を掛けて編んで紐にし、その紐をまた月日を掛けて編んで縄にし、またその縄を月日を掛けて編んで綱にしていき、絆にしていく、人と人との繋がりを太く大切にしていって発展する部会と考えております。

これからも全国R・Jグレード部会を社会的に価値ある会として行く所存でありますので、今後とも皆様のご協力、ご活躍をよろしくお願い致します。



懇親会で挨拶をされる大阪府鉄構建設業協同組合殿尾晃弘理事長

### 歓迎 (一社)栃木県鉄構工業会 R・J・N グレード加盟

この度、全国R・Jグレード部会連絡協議会に、(一社)栃木県鉄構工業会のR・J・Nグレードが加盟して頂き誠にありがとうございます。我々は鉄骨に対する目線が同じであり、経営、技術等の悩みを共有、解決し、情報交換の場に全国R・Jグレード部会を利用し互いに成長し経営安定に繋げていきましょう。貴会のこれからの益々の発展を心より祈念いたします。

全国R・Jグレード部会連絡会 会長 松枝 建次

## 総会で承認された 平成28年事業計画

自 平成28年 1月 1日

至 平成28年12月31日

## 1 第13回 通常総会

期 日 平成28年3月11日（金）

場 所 大阪市 大阪第一ホテル 6階 マーキスの間

## 2 役員会

年4回開催する（3月、6月、9月、12月）

1) 第1回幹事会 3月11日（金） 大阪 大阪第一ホテル

第2回幹事会 6月10日（金） 東京組合会議室

第3回幹事会 9月 日（ ） 未定

第4回幹事会 12月 日（ ） 東京組合会議室

## 3 工場見学会

先進的な同業の工場や異業種の工場の品質の高い製品を生産する現場から多くを学ぶために今年も工場見学会を行う。 平成28年 秋を予定

## 4 重点事業

- (1) 全国各県の鉄構組合におけるR・Jグレード部会の設立働きかけを推進する
- (2) 国土交通省に対してRグレードの「品質管理責任者の兼務」を認める様性能評価基準の改定を求めていく
- (3) 会員拡大、親睦のための情報交換会の開催する
- (4) 近隣各県のR・Jグレード部会の交流と情報交換を推進する
- (5) 行政、構造設計者に対するR・Jグレード指定に対するPR活動を推進する
- (6) 小規模鉄骨工場にもメリットのある施策の検討を行う
- (7) 先進工場の見学会の実施する
- (8) 全国R・Jグレード部会情報誌「かしめ」の充実と引き続きの発行を行い全国の会員にメールで発信する

## 全国R・Jグレード部会連絡会

## 平成28年 役 員

平成28年5月11日

	役職	氏名	所属部会	部会役職	会社名	役職	TEL FAX
1	会長	松枝建次	大阪府鉄構建設業(協)	書記	松枝興業(株)	代表取締役	06-6554-2325 06-6554-2627
2	副会長	土屋真一	(社)山梨県鉄構溶接協会		鉄建工業(株)	代表取締役	0553-33-5148 0553-33-6322
3	同	田中政和	(協)千葉県鐵骨工業会	会長	(有)田中製作所	専務取締役	04-7092-9640 04-7092-9715
4	同	谷口滋敏	京都府鉄構工業(協)	会長	(有)谷口鉄工	代表取締役	075-741-1439 075-741-1989
5	会計	谷津幸一	群馬県鐵構業(協)	会長	(有)谷津組鉄工所	代表取締役	0276-72-4600 0276-72-6881
6	幹事	松田浩二	京都府鉄構工業(協)	相談役	(株)マツダ	代表取締役	0774-43-9053 0774-44-0738
7	同	高橋久武	三重県鐵構工業(協)	会長	(有)タカハシ・エム・エフ・ジー	代表取締役	059-230-3082 059-230-3415
8	同	鈴木誠	(社)山梨県鉄構溶接協会	会長	(有)鈴木鉄工所	取締役	0555(85)4013 0555(85)4014
9	同	菅原伸之	神奈川県鉄構協同組合	会長	(株)菅原建鉄工業	常務取締役	045-543-1141 045-543-1203
10	同	船木寿幸	静岡県鐵構工業(協)	会長	フナキテツケン(株)	専務取締役	0538-84-2300 0538-84-2780
11	同		東京鉄構工業(協)				
12	同	佐々木弘和	大阪府鉄構建設業(協)	副会長	三和工業(株)	専務取締役	0726-53-4415 072-653-4801
	同		栃木県鐵骨業(協)				
13	相談役	杉本豊	東京鉄構工業(協)	相談役	(株)一本木鉄工	代表取締役	0423-61-5756 0423-61-2587
14	顧問	三田孝	京都府鉄構工業(協)		(有)ミタ工業	会長	0774-31-8525 0774-32-9209
15	オブ	尾熊哲雄	(協)広島県鐵構工業会		(有)トータルラックオグマ	代表取締役	084-931-2761 084-931-2772

## 神奈川県 R・J・N 部会総会開催

### 菅原会長が再任される

4月23日(土)16時30分から神奈川県の組合事務所で第2回定時総会が開催された。定足数確認報告後菅原会長が議長となり審議が進められた。平成27年度事業報告及び収支決算、平成28年度事業計画及び予算案が全会一致で承認され、役員改選では別表の役員一覧のとおり基本的に再任が承認され総会は終了した。冒頭菅原会長は「3年目に入るが 情報交換と技術向上の勉強会を中心に活動していきたい。組合役員の改選期にあたり本会員から3名の役員が誕生する見込みであり、本会の地位向上が期待できると挨拶された。来賓の石井副理事長は「建築鉄骨を製作するファブは認定を取得すべきであり、グレードが高くなるほど人員増、工場や設備の充実が要求されるので、Jグレードの取得も考慮されたい。部会では情報交換を活発化させてほしい」と挨拶された。

総会前の15時30分から性能評価工場審査についての座談会が行われた。認定審査を受けた4社から入熱パス間のデータを取っておく、日常の機器点検の励行、出荷指示など注意事項が発表され、意見交換がされた。

#### 全国 R・J グレード部会土屋副会長が挨拶

総会後は、全国 R J グレード部会土屋副会長(山梨・鉄建工業)も出席されて、地下の居酒屋で懇親会が行われ大いに盛り上がった。

#### 神奈川県鉄構業協同組合 R・J・N グレード部会役員名簿

会 長	菅原 伸之	(株)菅原建鉄工業
副 会 長	柳川 宜満	(有)柳川鉄工所
会 計	佐々木慎一	(有)太陽工機製作所
幹 事	内藤 恵一	(有)内藤鉄工所
監 事	府川 光一	(有)府川鉄工所

この記事は神奈川県鉄構業協同組合発行のニュースから転載させていただきました。

#### 編集後記

1年ぶりの「かしめ」13号の発行となりました。年間4回発行を目指してきましたが、事務局の力量不足で昨年は1回となってしまいました。各県のR・Jグレードが全国的に組織をして何をするのか?という話をよく聞きます。確かにR・Jグレードの会員は地域密着型の企業が多いことは事実です。しかし、性能評価の品質管理者の管理技術者との兼務問題では全国のR・Jグレードの会員の声を代表して兼務を認める様活動を行い、結果兼務を認めさせることになりました。